

■ 災害対策基本法・指定公共機関としての主な災害対応実績

農村工学研究所

	年 度	被害状況等	派遣職員数	主な活動内容
第Ⅰ期中期目標期間	平成13年度	(1件)	2名	台風15号
	平成14年度	(5件)	延べ11名	福島県地すべり、シリア国Zeyzoneダム、台風6, 7, 21号
	平成15年度	(9件)	延べ20名	宮城沖地震、北部九州豪雨、宮城北部地震、台風10号、十勝沖地震、富山県氷見市ため池崩落
	平成16年度	(9件)	延べ70名	新潟・福島豪雨、福井豪雨、台風10, 15, 16, 23号、新潟県中越地震、静岡県強風、スマトラ沖地震、他
	平成17年度	(1件)	1名	福岡県西方沖地震に係るため池の安全性の診断・調査を実施。
	(第Ⅰ期の計)	(25件)	(延べ104名)	—
第Ⅱ期中期目標期間	平成18年度	4月7日未明に、山形県西村山郡朝日町大船木地区において農地地すべりが発生。	2名	融雪が原因と見られる地すべり(約1.3haの範囲)が発生し、県道を分断し、最上川の流積を阻害した。農林水産省農村振興局防災課の要請に基づき、直ちに職員を派遣し、山形県、東北農政局の担当官に、モニタリングと対策工法の技術支援を行った。
		4月17日に、富山県高岡市福岡町五位ダム(農水省)の貯水池法面が崩落。	1名	幅180mの範囲の地すべりが発生し、河道閉塞の危険と、ダム貯水管理に影響を及ぼすことが懸念された。北陸農政局資源課からの要請に基づき、直ちに職員を派遣し、地すべりの滑動を把握するため、農工研のGPS観測装置を現地に設置した。現地観測データを解析し、現地の関係者に滑動データをリアルタイムで配信するシステムを構築した。地すべり挙動観測を継続中。
		台風12号(平成18年9月5～6日)と、急速に発達した低気圧(10月6～8日)により、福島県北海老地区(相馬市)にある海岸保全施設が二度にわたり被災。	1名	農林水産省農村振興局防災課の要請に基づき、10月13日の行政部局の現地調査に職員を同行させ、被災原因の調査を行うとともに、被災した海岸堤防等の復旧対策について、技術支援を行った。
	平成19年度	平成19年3月25日9時42分頃に、能登半	第1次：2名 第2次：2名	農林水産省農村振興局防災課からの要請に基づき、北陸農政局及び石川県と連携し、技術

		<p>島西岸付近の深さ約11kmを震源とするマグニチュード6.9の大きな地震が発生。</p>	<p>第3次：1名 第4次：5名 第5次：調整中</p> <p>(フォローアップ 調査)</p> <p>第3次：1名 第4次：5名</p> <p>延べ16名</p>	<p>支援を実施中。職員派遣要請の目的は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次：農業用ダム・ため池等の被災危険度判定と応急措置。 ・第2次：農地地すべりの被災危険度判定と観測態勢。 ・第3次：ため池の緊急安全度診断。 ・第4次：災害復旧工法等に係る技術支援。 ・第5次：(水路等の被災度診断と復旧方法。) <p>(フォローアップ 調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次関連：ため池モニタリング ・第4次関連：試料採取、水田亀裂調査他
--	--	--	--	---

(平成19年5月19日現在)